

「茂原市行財政改革推進指針（案）」に対する パブリックコメント（意見募集）の結果について

「茂原市行財政改革推進指針（案）」について、みなさんからご意見をいただくためにパブリックコメントを実施したところ、結果は以下のとおりでした。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

意見等の募集期間

令和2年11月2日（月）から令和2年12月1日（火）

意見等の受付人数及び件数

1人1件（提出方法：電子メール1人）

お寄せいただいたご意見の趣旨及びご意見に対する市の考え方

いただいたご意見については、原則として原文のまま掲載しております。

番号	ご提出いただいた意見等	市の考え方
1	<p>平成8年以降も第7次まで行財政改革をしてきているので、概ねの改革はできているのではないだろうか。もちろん、業務の見直しは必要ではある。</p> <p>逆行行財政改革自体が特に人事に弊害を及ぼしていないだろうか。人員削減により残った職員に割り増された仕事量は結果的に長時間勤務であったり、能力以上のものをもとめているのではないか、それができない職員は休職に追い込まれていないだろうか。</p> <p>適材適所というが公務員の業務は企業とは異なり、利益を上げることではない。目に見える実績による抜擢やボーナスでの評価ということができない公務員の職場では不祥事が起きても不思議ではない。それを避けるために人事異動をせざるを得ないところである。それがために適材適所ではなく、結果的に平均的な能力を期待することになる。従って、「適正な人事」にしたほうがよい。これこそが見直しではないだろうか。</p> <p>職員と接していて近頃は、能力の高い職員は増えていると感じられる。また、予算が不足しているためか、市の〇〇計画などが外注されずに現状をよく知っている担当職員が策定しているものもあると聞いている。反面教師のようであるが、大変喜ばしい。これが職員の能力の発揮の仕方ではないだろうか。これを評価する制度にすべきである。</p> <p>先進的な行政手法などを取り入れていくのも職員のモチベーションアップにつながるであろうし、職員の意見を吸い上げる制度も必要なのではないか。</p>	ご指摘の点については、ご意見として承ります。